

2008.12.10 (vol.9)

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課
<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

1 高校の特色ある取組, 2 学校紹介スペシャル, 3 コラムは, 各高等学校から寄せられた原稿を掲載しています。

なお, 県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページをご覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区決定までの経緯等

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1 高校の特色ある取組

- 本吉響高等学校
情報・環境の2本柱
- 古川黎明高等学校
キャリア教育の取り組み
- 宮城県工業高等学校
ものづくりコンテストで全国上位をめざす

2 学校紹介スペシャル

- 仙台第三高等学校
 - ① 「課題研究の取り組み」と「理数科の日」紹介
 - ② 新校舎の建設状況について
- 石巻高等学校
自分の進路についてしっかり考え, 行事も頑張る石高生

3 コラム

- 岩ヶ崎高等学校
 - よし!岩高 未来に羽ばたけ 校長 大畑 典子
 - 岩ヶ崎高校の新たなスタート 教頭 菅原 至
 - 岩高生への想い 教諭 高橋 由美
- 貞山高等学校
定時制だって, がんばれば夢はかなう!

昼間部進路指導部長 阿部 浩二

□ 塩釜女子高等学校

統合まで1年ちょっと

塩女の「風」

あなたにおススメ

校長 庄司 賢三

生徒指導部長 三浦 愛言

前生徒会長 松本 真歩

4 お知らせ

(1)メールマガジンのバックナンバーについて

(2)ハイスクール・ネットワーク ―高校教育課通信― 第81号について

(3)各高校の学校紹介について

①各学校のHP（ホームページ）

②公立高校ガイドブック

③公立高校ガイド（入試情報）

5 編集後記

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ 本吉響高等学校

└ <情報・環境の2本柱>

本校は【情報】と【環境】の分野を2つの柱として位置づけた総合学科の学校で、多くの専門的な科目を用意しています。2つの柱に関する科目としては……

【情報】分野……『情報』『商業』『工業』の教科が中心となり、「情報と表現」「情報処理」「プログラミング」「商業技術」「文書デザイン」等々の科目があります。また、『音楽』の「器楽演奏」や「作曲」等の科目では、コンピュータにキーボードなどの音楽機器を組み合わせて操作する授業も行っています。

【環境】分野……『農業』『理科』『家庭科』の教科が中心となります。「栽培環境」「環境と衣食住」「自然観察」など、本校独自の科目も含まれます。「自然観察」では、学校周辺の豊かな自然環境の中で観察や調査活動などを行っています。

授業以外にも、【情報】分野では今年度、みやぎ県民大学「学校開放講座」として、地域の方々にコンピュータの基本操作講習の機会を設け、好評でした。【環境】分野でも、環境に配慮した稲作「ふゆみずたんぼ（5年目）」や「アイガモ農法」、津谷川の水生生物調査等に取り組んでいます。

当然、2本柱以外にも多くの特色があります。ホームページ等をご覧ください。

→ <くわしくはこちら> <http://hibiki-h.myswan.ne.jp/>

□ 古川黎明高等学校

└ <キャリア教育の取り組み>

本校は、平成19年度より3年間、文部科学省から『高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究』の研究指定を受けています。今年度は、1年生が職場体験を行い、2年生が高大連携事業の一環として東北工業大学の講義を受講し

ました。1年生は希望グループごとに、宮城県庁、東北大学病院、仙台地方裁判所、東北電力、トヨタ自動車などへ出向き、実際の職場風景を見学し、仕事の内容についてレクチャーを受けました。生徒は、それぞれ、自らの進路希望や職業観に関して、様々な刺激を受けていたようです。2年生は、全員が実際に大学の講義を体験受講しました。文系はデザイン・ストレスなどをテーマとした講義、理系は人工ダイヤモンド・宮城県沖地震などをテーマとした講義でした。生徒は、「とても新鮮だった」、「デザインに対する興味をより深めることができた」、「教授がとてもフレンドリーで自然に講義の中に入り込むことができた」、「宮城県沖地震の授業はとても分かりやすかった」等々、内容的には多少難しい面があったものの、ほとんどの生徒が好印象を受けていたようです。

→ くわしくはこちら> <http://www.freimei-h.myswan.ne.jp/>

□ 宮城県工業高等学校

| くものづくりコンテストで全国上位をめざす>

今年度は北京オリンピックの年でスポーツの世界は盛り上がりました。ものづくりの世界でも技能五輪があります。10月末の幕張メッセなどで行われた第46回技能五輪全国大会旋盤職種に本校3年生が出場しました。職業能力開発校や高等技術専門校と競い全国大会出場の切符を手にしたものです。課題は4時間45分で仕上げる難度の高いものでした。指導される先生との二人三脚でようやく戦える自信もつきました。世界大会まで続くものづくりの技術を磨くため日夜奮闘中です。

また高校生ものづくりコンテスト全国大会ではポスター部門で最優秀賞に輝き、今年度のポスターに採用され、実際に会場や各高校で飾られました。第3回若年者ものづくり競技大会旋盤職種では東北では初となる3位入賞を果たしました。さらに全国高校生プログラミングコンテストでは準優勝などの結果を残しています。全国上位入賞した生徒のがんばりを見て、周りの生徒も刺激を受け、次は自分の番と張り切っています。

一方資格取得では第二種電気工事士に71名が合格(全国15位)し、さらなる上級資格にチャレンジ!学校あげて資格取得に取り組んでいます。

→ くわしくはこちら> <http://miyagi-th.myswan.ne.jp/>

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 仙台第三高等学校

① 「課題研究の取り組み」と「理数科の日」紹介

仙台三高理数科の特色ある取り組みである「課題研究」と「理数科の日」を紹介

しましょう。仙台三高理数科は、昭和43年に宮城県で初めて設置された理数科です。以来、40年にわたり理数教育の発展に努めており、全县より科学に興味を持つ生徒諸君が集います。

理科・数学の発展的な教育を実践していますが、その中でも、第2・第3学年時に行われる「課題研究」は代表的な取り組みの一つです。

「課題研究」とは、理数科全生徒が5名程度のグループに分かれ、それぞれテーマを設定して取り組む研究活動で、理数科第2学年時に実施されます。理科の授業の一部や、放課後、あるいは休日等に各班で集まり、教員の指導の下、高等学校で学習する枠を超えて自由に研究を深めていきます。授業と違って、生徒が主体的に考え、活動し進められていくもので、理数科ならではの充実した学習活動です。

平成19年度に行われたテーマを紹介しましょう。

物理分野…「オーロラ」「ホバークラフト」「松坂のジャイロボール」「虹」

「橋」「スターリングエンジン」「蒸気エンジン」「超音波モーター」

化学分野…「ボルタ電池を利用した電池の性質」「ロケット花火の構造と火薬」

「テルミット反応」「石鹼」「酸化チタンの研究」「オゾンの研究」

生物分野…「筋肉及び神経に対する刺激とその応用」「金魚の鱗の拒絶反応」

「人工種子の作成と植物ホルモンの作用」「刺胞細胞」

地学分野…「蒸発法による結晶成長の観察と考察」「砂漠の薔薇を作る」

平成19年度から文部科学省の「サイエンスパートナーシッププロジェクト（SPP）」に参画し、宮城教育大学の先生方から直接に科学機材の使い方や研究の在り方について指導を頂いており、課題研究の内容充実を図っています。

これまで、課題研究は校内で発表会を行ってきましたが、平成20年度より、

「理数科の日」として企画が拡大されました。

今年は、5月21日（水）に仙台市青年文化センターを会場として開催され、豊橋技術科学大学の飯田明由教授から『工学部で飛行機を作ろう』という記念講演を頂きました。また、宮城教育大学の出口竜作教授をはじめ宮城第一高校小松原幸弘先生、仙台向山高校井上清先生から課題研究に関する講評をお願いし、盛況のうちに終了することが出来ました。

現2年生対象の課題研究も既に始まっており、今後さらに発展させていきたいと学校として取り組んでいます。

② 新校舎の建設状況について

仙台三高の新校舎建設は順調に進んでいます。7月と10月に行われた学校説明会では、共学化と新校舎についてのご質問を多く頂きました。新校舎と新体育館は、平成21年1月に完成を予定しており、来春の入学生の皆さんは、新しい校舎で入学式を迎えることになります。

多くの機会にお話ししていますが、この場を借りてあらためて新校舎の特徴を紹介しましょう。建設中の新校舎は、地上4階建て、延べ床面積11,875㎡、最新の教育環境を有します。3つの多目的教室、4つの選択教室を持ち、個別指導や習熟度別授業等に対応します。また、学習室や生徒ラウンジなど、生徒の皆さんの自学自習や懇談のためのスペースも用意しています。4階に設けられる大講義室は400人定員の階段教室で、冷暖房完備となります。また、職員室前に広々とした空間を設けて、学習・進路相談などに利用します。教室や廊下も広々とした造りと様々な配慮を施し、開放的で明るい新校舎が出来上がる予定です。

校舎と同時に完成予定の新体育館の2階フロアは体育の多様な種目の選択授業

に対応できる広々としたスペースが確保される予定です。

なお、野球場やテニスコートなど、外構部分が完成するのは平成21年度末の予定です。

→ <ホームページはこちら> <http://sensan.myswan.ne.jp>

□ 石巻高等学校

| <自分の進路についてしっかり考え、行事も頑張る石高生>

1 自分の進路について考える様々な行事があります。

<大学見学会> 7月末～8月初め

東北大学、宮城教育大学、宮城大学、岩手大学、福島大学、山形大学の見学会にバスをチャーターして参加します。

<保護者対象進路講演会> 9月

大学の受験情報について専門の方による講演を行っています。

<大学模擬講義> 10月23日

大学模擬講義を1・2年生対象に開催し、東北の各大学から多数の先生方をお招きしました。テーマ例は、

- ・「芥川龍之介の『さまよえる猶太人』を読もう！」
- ・「教育学って何だろう」
- ・「不安と悩みの心理学」
- ・「法を視る消費者の目、企業の目」
- ・「企業会計のしくみと粉飾決算」
- ・「食用作物の起源－バナナやミカンはなぜ種子がないか」
- ・「海洋生物の生態から薬の原料を探す」

生徒は自分の進路希望に合わせて講義を選び聞きます。具体的な学部・学科・大学、職業選びにつながることを期待されます。

<学習合宿> 8月5日～7日（3年生）、12月22日～24日（1・2年生）

自学自習を主に、予備校の先生の講義も行われました。

<大学入試センター試験リハーサルテスト> 1月5日～6日

センター試験本番の会場となる石巻専修大学を借りて実際の日程通りで2日間にわたる試験のリハーサルを行います。

<鯛陵塾> 1月22日

各分野の第一線で活躍されている同窓の方を招いての講演会です。

<その他>

土曜学習会は、定期テストの前2週間の学習会です。本校を卒業した大学生をチューターとして招き、質問に答えてもらえることはもちろん、勉強の仕方も丁寧に教えてもらえます。

その他、生徒対象進路講演会・進路説明会も多数行っています。

2 次に本校の特色ある行事について紹介します。

<応援練習> 4月

1年生の入学当初の時期に、応援団幹部の指導により、「校訓」と呼んで現在も

□ 岩ヶ崎高等学校

今回は「我が校」に対する想い、をテーマに校長先生始め、3人の先生方に岩ヶ崎高校への熱い想いを文章に表現してもらいました。岩高の良さを感じとって頂ければ幸いです。

<よし！岩高 未来に羽ばたけ>

校長 大畑 典子

岩ヶ崎高校は開校68年目を迎えた伝統ある普通高校です。建学の精神「尚志育英」の下に、今日までゆるぎなく学習第一の姿勢を貫き続け、県北の進学校として国内外に逸材を送り出してきました。生徒・教職員の両方に深く浸透している優れた岩高精神「尚志育英」は、今後も大切に守られ実践されて行くことでしょう。

地歴担当のT先生は「岩ヶ崎高校の自慢は三つのP」と語ります。三つのPとは、Pride（プライド）・Performance（パフォーマンス）・Peace（ピース）。

岩高では生徒一人一人が大切にされます。生徒は、学校の落ち着いた雰囲気の中で、ひたむきに学び、目標に向かって努力しています。放課後は部活動に歓声が上がり、球技大会・文化祭・強歩大会などの学校行事にも積極的にチャレンジし、活気が漲っています。そして3年間で高い学力を身につけ、進路目標を達成して巣立っていきます。

岩ヶ崎高校は、都市部から離れていることをメリットにしている数少ない高校の一つだと思います。この岩ヶ崎高校で思い出ぎっしりの高校生活を創りませんか。

<岩ヶ崎高校の新たなスタート>

教頭 菅原 至

「くりはら田園鉄道（栗鉄）」の二両編成の満員電車から田町駅に降り立った多くの高校生が丘の上にある岩ヶ崎高校に向かう姿。私の高校時代の印象的な風景です。高度成長期、細倉鉱山も農村地帯も城下町の岩ヶ崎も大いに賑わっていました。

さて、激動する現代、かつて分校であった現鶯沢工業高校と岩ヶ崎高校とが再編統合します。普通科としての岩ヶ崎校舎と創造工学科としての鶯沢校舎が、それぞれの使命を深く自覚しつつ、新たな岩ヶ崎高校として平成21年度からスタートを切ります。

生徒数が減少しても、今も昔も変わらぬ教師と生徒との温かく良好な関係。教師集団の熱意とひたむきに努力する生徒の姿は、まさに岩ヶ崎高校の伝統です。この伝統を基盤に関係各位のご支援をいただきながら、新たな岩ヶ崎高校の伝統をつくっていきます。

<岩高生への想い>

教諭 高橋 由美

私は、本校の同窓生で自分が学んだ校舎で今生徒たちと関わっています。そのため学校や生徒に対する想いは強く自分に出来る事は何か、何を伝えたいのかをいつも頭におき教育活動を実施しています。生徒は色々なことにぶつかり悩み、解決の糸口を探しにやって来ます。その時自分は的確なアドバイスが出来ているのか振り返るようにしていますが、生徒たちは指導したことを直ぐ実行に移し生活に生かすことが出来ていると感じます。

ただし、あまりに純粋で真面目なため、人を信じ過ぎ傷つくことも少なくありませんし、困難にぶつかったとき失敗の経験が少ないためどのように乗り越えたらよいか分からず自分を責めることしか出来ない生徒もいます。もう少し楽に生きた

らいいのに、良い子でいなくてもいいのにと感じることも少なくありません。精神的に強くなれるようにいろいろな経験をつませていきたいと考えるこの頃です。

→ <ホームページはこちら> <http://iwagasakikou.myswan.ne.jp/>

□ 貞山高等学校

<定時制だって、がんばれば夢はかなう！>

屋間部進路指導部長 阿部 浩二

皆さんは定時制にどのようなイメージを持っていますか？「夜の学校」「私服で茶髪」「暗い」……。昔は、昼間働いて夜学校に行く、というもので十分でしたが、今の定時制の生徒は実に多様化しています。今回は、そんな今の定時制を象徴する生徒たちの進路実現の様子を紹介します。

S君（屋間部卒：県内就職）の場合

S君は、家庭の事情もあり中学校時代から新聞配達のアルバイトをしてきました。学費の安さ（授業料は全日制の約1/4）と屋間部があるので貞山高校を選びました。貞山高校の屋間部の始業時間は10時45分からなので、新聞配達が終わってからちょっとした仮眠の時間も取れます。自転車で15分ほどの通学距離なので、アルバイトと学業の両立にはぴったりの学校でした。中学時代に野球部だった彼は、全国制覇を目指そうという級友の誘いで、軟式野球部に入り毎日練習に励みました。彼の日課は、朝5時から7時まで新聞配達、9時登校、10時30分まで部活動、17時下校、週末の土曜は部活動。ついには2・3年次と連続して定時制・通信制全国大会に出場し、3年次にはあの神宮球場でプレーすることができました。彼のがんばりを見ていた新聞販売店長の薦めもあり、配達していた新聞の関連企業の就職試験を受けました。約5倍という難関でありましたが見事内定し、採用の運びとなり、現在は元気に仕事に励んでいます。全国大会に出場した仲間と野球のチームを作って試合もしています。「がんばれば、夢はかなう」ということを彼は見せてくれました。

J子さん（屋間部卒：県外就職）の場合

本校卒業生の中には外国籍の人もいます。Jさんは15歳でフィリピンから日本に来ました。中学校に入ったものの、日本語がわからず苦勞したそうです。しかし、頑張り屋の彼女は日本語を早く理解したくて、必死で補習に取り組んだそうです。本校に入学後も日本語学習に励みながら、全教科の授業に集中し、人一倍努力しました。その一方で、生来身につけている英語に磨きをかけ、実用英語検定2級を取得しました。元来明るく、何事にも前向きな彼女ですので、学校生活でも周囲には笑いが絶えませんでした。そんなJさんは持ち前の語学力を生かして、日本と外国との橋渡しができる仕事に就きたいと希望するようになりました。そして関東にある国際空港そばの有名な外資系国際ホテルの採用試験を受けることにしました。利用客の90パーセント以上が外国人の、大規模な国際ホテルです。彼女は誰からも好感をもたれる、常に笑顔を絶やさない誠実な人でしたから、無事採用試験に合格できました。勝因は、何と言っても彼女の何事にも忍耐強く取り組む姿勢だったと確信します。

T君（夜間部卒：私立大学進学）の場合

T君は、全日制高校を中退した後しばらくは塗装工をしていました。しかし中卒では、将来転職を考えた場合はほとんど難しいと知人にいわれ、貞山高校の夜間部に入り直しました。20才を過ぎての入学なので一番年上だと思っていたらしいのですが、同年代や年上の人も何人かおり、相談したり一緒に行事に参加したりして楽しむことができました。年下の同級生の相談にも乗りました。少しでも彼らの助けになりたかったので、自分の高校中退経験を伝えたりもしたそうです。授業を受けているうちに自分の視野を広げたいと思うようになり、それならば大学に進学してもっと勉強したいという思いが強くなりました。彼は、学校を一日も休まず一生懸命勉強しました。その結果、地元の私立大学に推薦入学し卒業、現在は通信関連の企業に勤めています。

今回は、進路実現を果たした貞山高生を紹介しましたが、本校には経済的な理由で入学した人のほかに、外国籍の人、中学時代学校に通学できなかった人、全日制を中退した人など様々な理由で入学してきます。入学した生徒は単位制の特長を生かしてそれぞれの目標に応じた科目選択をして勉強し、進路実現を目指します。詳しくは一度本校のホームページをクリックしてみてください。あなたの夢の実現の一步が開かれるかも知れません。

→ <ホームページはこちら> <http://teizan.myswan.ne.jp/>

□ 塩釜女子高等学校

<統合まで1年ちょっと>

校長 庄司 賢三

塩釜女子高校は、来年度に創立80周年を迎え、平成21年11月20日に創立記念式典を行います。そして来年度末には塩釜女子高校は閉校となり、塩釜高校と統合し、平成22年4月に新しい学校として開校します。

塩釜女子高校は創立以来、清楚で礼儀正しく、他を思いやる優しさを持って創造的に生きる女性の育成を校是として、多くの有為な人材を世に送り出してきました。この礼儀正しさは現在もしっかりと受け継がれており、ご来校いただければすぐ分かります。

そして部活動でも輝かしい実績を残しています。昭和39年以降だけでも、バレーボールが総体8回優勝、卓球が13回、バドミントン団体戦5回、弓道団体戦6回、それぞれ県で優勝しています。さらに弓道部は全国優勝、ヨット部は全国3位の実績もあります。

この伝統は今も受け継がれています。全体として運動部が強く、県ベスト4に入る種目がたくさんあります。そして本年のインターハイでは、ヨット部が全国5位に入りました。文化部でも吹奏楽部やダンス部がめきめきと力をつけてきており、今後の活躍が期待できます。

塩釜高校と統合しても、このような良い伝統を失うことなく、よりパワーアップした学校にするために、目下着々と準備をしているところであります。

<塩女の「風」>

生徒指導部長 三浦 愛言

学校が大切にしなければならないものの一つに「校風」があります。これは明文化された制度的なものの対極に位置していて、教職員や生徒の間に流れる空気、ま

さに「風」の様なものなのかもしれません。

本校の校風が端的に表れているのが、朝の登校風景です。学校が近づいてくると生徒達の姿が多くなるにつれ、街角のあちこちから「おはよう」「おはようございます」と明るい挨拶が聞こえてきます。友達同士はもちろんですが、町内会の交通整理ボランティアの方々や犬の散歩をしているご近所の方などにも元気よく挨拶をしています。

校内に入ると、すれ違う生徒はほぼ例外なく「おはようございます」と声を掛けてくれます。どこかの運動部が始めたことが何気なく広がったのか、わざわざ立ち止まって挨拶をしてくれる生徒も結構います。そんな中で稀に目が合ってもうつむく生徒がいるとこちらも心配になり、つい「おはよう、元気がないね」などと声をかけてしまうものです。

港町の庶民的な学校なので、さすがに「ごきげんよう」とまではいきませんが、近年の色々な意味で世知辛いご時世で、家庭に帰っても必ずしも安らげない子供達が増えている中、せめて学校生活だけでも澁刺とできるのは大切なことです。

生徒や教職員だけでなく、誰もがここに来ればとりあえずホッとすると、そんな家族的で暖かい雰囲気は塩釜女子高校に集う人々の間には流れているのです。

<あなたにおススメ>

前生徒会長 松本 真歩

私たちが通っている塩釜女子高校は近海マグロ水揚げNO. 1の港町の高台に聳え立つ、約80年もの歴史をもった学校です。

現在約600名の女子生徒が通い、校舎内は毎日笑顔と活気にあふれ、楽しい学校生活を送っています。また校内には文化祭の装飾品が飾られており、教室の窓から水平線を眺めることもできます。

塩釜女子高は行事も盛んであり、中でも塩女三大行事と呼ばれる体育祭・塩女祭・合唱祭では毎年大きな盛り上がり感動を多くの人に与えています。体育祭は主に球技を中心とした種目と団体競技を、学年の壁を越え、一人一人が上位目指して戦います。塩女祭（文化祭）は塩女最大の行事でもあり、文化祭の展示を始め、パレード・模擬店・ダンスや軽音の発表と楽しいことばかりです。中でも全校製作の巨大垂れ幕は塩女の伝統の一つであり、名物でもあります。気になる方は是非塩女祭に足を運んでください。合唱祭はクラスの団結力が必要となる行事で、行事の三週間前になると、朝から放課後まで綺麗な歌声が教室から聞こえてきます。合唱祭当日はどのクラスも負けないうくらい素晴らしい歌声がホールに響き、感動を与えてくれます。

このように塩釜女子高は一人一人の持つ力を大いに発揮できる学校です。新しい自分を見つきたい人、部活・行事・勉強を頑張りたい人におススメの学校です。

→ <ホームページはこちら> <http://siojo-h.myswan.ne.jp/>

■ 4 お知らせ ■

(1) メールマガジンのバックナンバーについて

メールマガジンの第1号（平成19年7月10日発行）から第8号（平成20年11月10日発行）までのバックナンバーを高校教育課のホームページに掲載していますので、ご活用ください。

「高校の特色ある取組」「学校紹介スペシャル」「コラム」等のコーナーにおいて、各号で掲載している高校は次のとおりです。

〈第8号（平成20年11月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 志津川
「学校紹介スペシャル」 … 中新田，岩ヶ崎
「コラム」 … 富谷

〈第7号（平成20年10月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 柴田農林，松島，石巻好文館
「学校紹介スペシャル」 … 白石，白石七ヶ宿
「コラム」 … 貞山
「お知らせ等」 … 宮二女

〈第6号（平成20年9月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 白石・七ヶ宿，柴農・川崎，古川工
「学校紹介スペシャル」 … 宮城一，米山，泉松陵
「コラム」 … 古川工（定）

〈第5号（平成20年7月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 宮城工，一迫商，石巻商，田尻さくら，東松島
「学校紹介スペシャル」 … 佐沼

〈第4号（平成20年6月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 白石工，石巻西
「学校紹介スペシャル」 … 志津川
「コラム」 … 泉松陵
「お知らせ等」 … 柴田，宮二女

〈第3号（平成19年12月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 宮一女（現：宮城一），田尻さくら，富谷

〈第2号（平成19年10月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 名取北，女川，水産，黒川
「学校紹介スペシャル」 … 仙台三
「お知らせ等」 … 仙台南，南郷

〈第1号（平成19年7月10日発行）〉

「高校の特色ある取組」 … 一迫商，米谷工
「コラム」 … 宮城工

→ <バックナンバーのアドレスはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/merumaga/index.htm>

(2)ハイスクール・ネットワーク ―高校教育課通信― 第81号について

「ハイスクール・ネットワーク ―高校教育課通信―」の第81号（平成20年

11月27日発行)を高校教育課のホームページで配信しています。

主な内容は、11月12日(水)から14日(金)に県庁1階ロビーで開催した「みんなの専門高校展」の様子を紹介です。この「みんなの専門高校展」は、本県の専門高校等で学んでいる生徒が、自分たちの日々の学習活動やその成果を発表したものです。当日の生徒の活躍の様子が写真等で紹介されています。ご覧ください。

→ <ハイスクール・ネットワークのアドレスはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/network.htm>

(3)各高校の学校紹介について

各高校の学校紹介については、①各高校のHP(ホームページ)や、高校教育課のHPに掲載している②「公立高校ガイドブック」(各高校の学校紹介のページは「所在地」又は「学科」から検索できます)、③「公立高校ガイド(入試情報)」(平成21年度春の高校入試関係情報を含む各高校の特色をまとめたものです)を

ご覧ください。

《方法》 「宮城県教育庁高校教育課」で検索



「宮城県／教育庁高校教育課」をクリック

[アドレス] <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>



②「平成20年度 宮城の公立高校ガイドブック」をクリック



「公立高校ホームページ」をクリック



「見たい学校」をクリック … ①各学校のHPのトップページへ



③「公立高校ガイド(入試情報)」をクリック

■ 5 編集後記 ■

遠くに見える山々も頭に白い帽子をかぶり始めました。

平成21年度宮城県公立高校入学者選抜は、1月14日(水)から22日(木)午後3時までの推薦入試・連携型入試の出願受付、志願者予備調査報告書の提出から、本格的に始まります。各中学校の先生方には、入試に係る事務処理や生徒への指導等で、さらにお忙しい毎日になるかと思えます。

中学生の皆さんの志望校選択に役立つ情報の提供をしてみました「高校教育課 情報メール」ですが、本格的な入試シーズンをむかえるにあたり、今年度分の配信は、この第9号をもちまして、終了とします。今年度の「高校教育課 情報メール」も、県内の各高校から寄せられた各高校の特色ある取組等の話題を中心に、6回配信しました。ご愛読、ご活用いただきましてありがとうございました。

来年度についても、各高校の先生方の協力を得まして、各高校の新鮮な情報を満

載した「高校教育課 情報メール」を配信する予定です。
来年度も「高校教育課 情報メール」をよろしくお願いします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1
TEL：022-211-3624 / FAX：022-211-3696
